館内企画展2012年度

平和祈念展示資料館

2012年度

2013年2月13日 春の特別企画「マンガにみる引揚げ体験」

日時:平成25年3月12日(火)~4月21日(日) 会場:平和祈念展示資料館 企画展示コーナー、ビ

デオシアター



2012年11月15日 企画展『満蒙開拓青少年義勇軍の軌跡』

日時:平成24年12月11日(火)~平成25年3月10日(日)午前9時30分~午後5時30分(入館は午後5

時まで)

会場:平和祈念展示資料館 企画展示コーナー



2012年9月20日 平和祈念交流展 滋賀県平和祈念館×平和祈念展示資料館

日時:平成24年9月19日(水)~12月25日(火)午前9時30分~午後5時30分(入

館は午後5時まで)

会場:平和祈念展示資料館 特設ガラスケース

2012年9月16日 語り部お話し会

日時: 平成24年10月21日(日)午後2時~ (約60分)

会場: 平和祈念展示資料館 ビデオシアター

2012年8月27日 企画展『兵士となって』

日時:平成24年9月19日(水)~12月9日(日)午前9時30分~午後5時30分(入館は午後5時まで)会場:平和祈念展示資料館 企画展示コーナー



2012年8月1日 企画展「勝山俊一展」 後期: エラブカの人々と風景

日時:平成24年8月7日(火)~9月17日(月·祝)午前9時30分~午後5時30分

(入館は午後5時まで)

会場:平和祈念展示資料館 企画展示コーナー

2012年6月12日 企画展「勝山俊一展」

日時:平成24年7月3日(火)~9月17日(月・祝) 午前9時30分~午後5時30分(入館は午後5時まで) 会場:平和祈念展示資料館 企画展示コーナー



2012年5月8日

企画展『未公開資料展』 第2期「紙の記憶:本、日記、葉書」

日時:平成24年5月15日(火)~7月1日(日)午前9時30分~午後5時30分(入館

は午後5時まで)

会場: 平和祈念展示資料館 企画展示コーナー

2012年4月9日

企画展『未公開資料展』

日時:平成24年4月17日(火)~7月1日(日)午前9時30分~午後5時30分(入館は午後5時まで)会場:平和祈念展示資料館 企画展示コーナー



企画展『未公開資料展』

平成23年度新収蔵品から

今回の企画展では、昨年度寄贈された資料の一部を紹介します。 本企画展が体験者の労苦を知り、考えるきっかけとなることを願います。

日 時 平成24年4月17日(火)~7月1日(日) 午前9時30分~午後5時30分(入館は午後5時まで) 休館日:5月14日(月)

会場 平和祈念展示資料館 企画展示コーナー



当資料館には、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦を物語る資料が寄せられています。 昨年度も多くの資料が寄贈されました。抑留中に使われた飯ごうや手製の箸、 引揚げ時に背負われたリュックサックなど、いずれも寄贈者の様々な思いが込められた資料です。 今回の企画展では会期を分け一部展示替えを行います。

■第1期「軍隊生活の記憶」: 4月17日(火)~5月13日(日)

■第2期「紙の記憶」:5月15日(火)~7月1日(日)

■■ギャラリートーク■■

当資料館学芸員が展示解説を行います。

企画展の見どころや展示資料にまつわるエピソードを紹介します。

日時:5月19日(土)、6月16日(土)各日午後3時~午後3時30分

会場:平和祈念展示資料館 企画展示コーナー



抑留中に使われた飯ごう



引揚げ時に背負われたリュックサック 満州(現・中国東北部)からの引揚げの時に背負 われたもの

4月定期語り部お話し会

平成27年4月19日(日)

平和祈念展示資料館 ビデオシアター

※お席に限りがございますので予めご了承ください。

平和祈念展示資料館では、語り部を通して、さきの大戦における体験者の労苦を伝える機会として、毎月第3日曜日に「語り部お話し会」を開催しています。...

詳細はこちら

企画展『未公開資料展』 第2期「紙の記憶:本、日記、葉書」 平成23年度新収蔵品から

日 時 平成24年5月15日(火)~7月1日(日) 午前9時30分~午後5時30分(入館は午後5時まで)

第2期では、本、日記、葉書などの紙資料を中心に紹介します。

会場 平和祈念展示資料館 企画展示コーナー

海軍通信学校卒業後に一時帰宅した男性との別れを惜しみ、家族が詠んだ俳句が書かれた扇子や、 台湾の陸軍施設の壁紙を表紙に使ったノートなど、寄贈者の様々な思いが込められた資料を展示します。 本からは、出版された当時の世相や情報が、日記や葉書からは書き手をめぐる当時の状況や 彼らの心情が、読み取れます。

■■ギャラリートーク■■

当資料館学芸員が展示解説を行います。

企画展の見どころや展示資料にまつわるエピソードを紹介します。 日時:5月19日(土)、6月16日(土)各日午後3時~午後3時30分

会場:平和祈念展示資料館 企画展示コーナー



男性との別れを惜しみ 家族が詠んだ俳句が書かれた扇子



台湾の陸軍施設の壁紙を表紙に使ったノート

企画展「勝山俊一展」

『ソ連抑留スケッチ集』から

当資料館では、洋画家・勝山俊一氏がエラブカでの抑留体験を綴った画集『ソ連抑留スケッチ集』(勝山俊一画/エラブカ東京都 人会/昭和54年11月)の原画を所蔵しています。

今回の企画展では、新聞・雑誌などの挿絵も数多く手がけた勝山 氏ならではの優しく親しみやすい作品を通して、戦後強制抑留者 の体験を紹介します。

また、作品と合わせて、勝山氏が抑留先から持ち帰った貴重なスケッチや関連資料も展示します。

日 時 平成24年7月3日(火)~ 9月17日(月・祝) 午前9時30分~午後5時30分(入館は午後5時まで) 休館日:8月26日(日)

会場 平和祈念展示資料館 企画展示コーナー

◎会期を前期と後期に分け、展示作品をすべて入れ替えます。

■前期 エラブカへの道のり。そして労働:7月3日(火)~8月6日(月)

■後期 エラブカの人々と風景:8月7日(火)~9月17日(月・祝)



【勝山俊一氏プロフィール】

勝山俊一(かつやましゅんいち) 明治45 (1912) 年~平成2 (1990) 年

京都市生まれ。昭和3(1928)年、京都工学校建築科を卒業。

さきの大戦においては陸軍技手として中国大陸で軍務に服す。

昭和20(1945)年、エラブカへ抑留され、約2年間収容所生活を送る。昭和22(1947)年12月、復員。

昭和24(1949)年、荻原デザイン事務所に所属。

退職後洋画家となり、建築壁画も行う。新聞・雑誌などの挿絵も数多く手がけ、朝日新聞「地下鉄物語」(朝日新聞東京版にて昭和58(1983)年1月1日~9月6日まで連載)など多数。

■■ギャラリートーク■■

当資料館学芸員が展示解説を行います。

企画展の見どころや展示資料にまつわるエピソードを紹介します。 日時:7月14日(土)、9月8日(土)各日午後3時~(約30分)

会場:平和祈念展示資料館 企画展示コーナー



《虜囚列車》(前期展示) ※上記2点のキャプションは 『ソ連抑留スケッチ集』より引用



«ラボーターのスケッチ»(前期展示)

1月のビデオシアター上映予定

詳細はこちら

企画展「勝山俊一展」 後期:エラブカの人々と風景

『ソ連抑留スケッチ集』から

後期では、建築を学んだ勝山氏ならではの写実的な筆致が冴える、風景画・人物画を中心に紹介します。

日 時 平成24年8月7日(火)~9月17日(月・祝)

午前9時30分~午後5時30分(入館は午後5時まで)

休館日:8月26日(日)

会場 平和祈念展示資料館 企画展示コーナー

当資料館では、洋画家・勝山俊一氏がエラブカでの抑留体験を綴った画集『ソ連抑留スケッチ集』(勝山俊一画/エラブカ東京都人会/昭和54年11月)の原画を所蔵しています。

今回の企画展では、新聞・雑誌などの挿絵も数多く手がけた勝山氏ならではの優しく親しみやすい作品を通して、戦後強制抑留者の体験を紹介します。

また、作品と合わせて、勝山氏が抑留先から持ち帰った貴重なスケッチや関連資料も展示します。

なお、前期「エラブカへの道のり。そして労働」で展示した作品を「平和祈念展 in 新宿」において画像で紹介します。

勝山俊一氏のプロフィールはこちら

■■ギャラリートーク■■

当資料館学芸員が展示解説を行います。

企画展の見どころや展示資料にまつわるエピソードを紹介します。

日時:9月8日(土)午後3時~(約30分) 会場:平和祈念展示資料館企画展示コーナー



«エラブカの聖堂»(後期展示)

栄華を誇った、ビザンチン様式の教会堂も、今は 信者の影は無い。軍の糧秣倉庫か廃屋である。白 堊は禿げ、金色は色褪せ敗者の面影を留めてい る。何か虜囚に似た風情があった。然し冬空に吃 然と聳える聖堂は、今なお強い印象を残した。

※上記2点のキャプションは 『ソ連抑留スケッチ集』より引用

一陸と海のちがい一

今回の企画展では、徴兵検査から召集までの資料、入営後の生活 品、教科書などから、「陸」=陸軍と「海」=海軍の違いを紹介 します。

兵士となる過程について、理解を深めていただけたら幸いです。

- **日 時** 平成24年9月19日(水)~12月9日(日) 午前9時30分~午後5時30分(入館は午後5時まで)
- 会場 平和祈念展示資料館 企画展示コーナー



兵士となっていく過程には、陸軍と海軍では、様々な違いがありました。

たとえば、陸軍は徴兵によって、海軍は主に志願によって兵士となりました。

兵士となった人たちは、兵営や海兵団などで共同生活を営み、陸軍では軍隊内の規律を、海軍では技術習得を主として、 訓練や教育が実施されました。

徴兵検査の過程における資料や入営後の生活品、教科書などを中心に約30点を展示します。

■■ギャラリートーク■■

当資料館学芸員が展示解説を行います。

企画展の見どころや展示資料にまつわるエピソードを紹介します。 日時:10月7日(日)、11月11日(日)各日午後2時~(約30分)

会場:平和祈念展示資料館 企画展示コーナー



軍隊内務令



海軍四等水兵海軍四等航空兵航海術教科書



陸軍汁椀



海軍熱糧食の空き箱

平和祈念交流展 滋賀県平和祈念館×平和祈念展示資料館

この度、滋賀県平和祈念館と平和祈念展示資料館は交流事業として、「平和祈念交流展」を開催することになりました。

日 時 平成24年9月19日(水)~12月25日(火) 午前9時30分~午後5時30分(入館は午後5時まで)

会 場 平和祈念展示資料館 常設展示室 特設ガラスケース

平成24年3月17日に開館した滋賀県平和祈念館は、県内在住者ゆかりの資料を通して、平和学習や普及啓発を積極的に推進している施設です。

今回、当資料館では、滋賀県内のシベリア抑留経験者である北島敬三さんと、満州報国農場奉仕隊の引率教師である神戸幸子さんの体験を中心に紹介し、資料の写真とともにパネルで展示します。

また、北島敬三さんの体験談映像を当資料館のビデオシアターで上映します。

■「海がみえるぞ日本海だ シベリア抑留700日」(約20分)

10月上映予定: 10月5日(金)、14日(日)、24日(水)

11月上映予定: 11月1日(木)、6日(火)、9日(金)、15日(木)、19日(月)、24日(土)、28日(水)

12月上映予定: 12月1日(土)、7日(金)、13日(木)、20日(木)、25日(火)

午前10時から午後4時まで毎時00分上映開始





なお、滋賀県平和祈念館においては、下記の展示を行います。

■平和祈念交流展 シベリア強制抑留いろはかるた一斎藤邦雄の世界一

日時 平成24年11月7日(水)~11月25日(日) 午前9時30分~午後5時

※月曜、火曜休館

会場 滋賀県平和祈念館 地域交流室

企画展『満蒙開拓青少年義勇軍の軌跡』

一満州に渡った少年たち―

今回の企画展では、満州開拓の担い手となった満蒙開拓青少年義 勇軍について紹介します。

日 時 平成24年12月11日(火)~ 平成25年3月10日 (日)

> 午前9時30分~午後5時30分(入館は午後5時まで) 休館日:平成24年12月26日(水)~平成25年1月4日 (金)、2月3日(日)

会場 平和祈念展示資料館 企画展示コーナー



昭和13 (1938) 年以降、全国から集められた満15~18歳の少年たちが、 茨城県にある内原訓練所で農業実習と軍事教練を受け、満州に渡りました。 訓練所でさまざまな技能を身につけた少年たちは、満州開拓の<労働カ>であり、<予備兵力>としても位置づけられていました。 しかし、昭和20 (1945) 年8月のソ連軍侵攻により、少年たちはさまざまな困難に見舞われます。

当資料館が所蔵する満蒙開拓青少年義勇軍に関する資料をはじめ、訓練所 の兵舎(日輪兵舎)の模型を展示します。

※右図は<日輪兵舎(1/30模型)>



■■ギャラリートーク■■

当資料館学芸員が展示解説を行います。

企画展の見どころや展示資料にまつわるエピソードを紹介します。 日時:12月22日(土)、2月16日(土)各日午後2時~(約30分)

会場:平和祈念展示資料館 企画展示コーナー

ミニコンサート

管楽器等で「埴生の宿」をはじめ、体験者たちが当時口ずさんでいた音楽なども演奏します。

日時:12月15日(土)、1月12日(土)、1月19日(土)各日午後1時30分~、午後3時~

会場:平和祈念展示資料館 ビデオシアター

詳しくはこちら

語り部お話し会

満蒙開拓青少年義勇軍の隊員であった成田富男さんが自作の紙芝居を使って貴重な体験を語ります。

日時:1月20日(日)午後2時~

会場:平和祈念展示資料館 ビデオシアター

詳しくはこちら

講演会「満蒙開拓青少年義勇軍 - 「皇国少年」の光と影 - 」

日本近現代史・東アジア国際関係史が専門で、現在、人間文化研究機構国文学研究資料館助教を務める加藤聖文氏の講演会を行います。 講演会終了後、当資料館にて加藤氏による企画展に関連した特別解説があります。

日時:1月27日(日)午後2時~

会場:新宿住友ビル47階「スカイルーム」

※先着90名 当日正午より48階当資料館受付にて整理券を発行します。

詳しくはこちら

春の特別企画「マンガにみる引揚げ体験」

平和祈念展示資料館では、さきの大戦における兵士、戦後強制抑留者および海外からの引揚者の労苦を語り継ぐためのイベントを 行っています。

今回は、満州(現・中国東北部)からの引揚げについて、マンガのイラストパネルによる特別展示、トークイベント、語り部お話し会、アニメ映画の上映などを実施します。

- **日 時** 平成25年3月12日(火)~4月21日(日) 午前9時30分~午後5時30分(入館は午後5時まで)
- 会場 平和祈念展示資料館 企画展示コーナー、ビデオシア ター

参加費 無料



特別展示「マンガにみる引揚げ体験」

自らの引揚げ体験を描いたマンガ家8名によるイラストをパネルで展示し、大陸での生活と、日本へたどり着くまでの様子を紹介します。また、ちばてつやさん、森田拳次さんがご自身の少年の頃を描いたイラストの等身大パネルと、記念撮影ができるコーナーもあります。

日時: 3月12日(火)~4月21日(日)

会場:平和祈念展示資料館 企画展示コーナー

語り部お話し会

満州(現・中国東北部)の奉天(現・瀋陽)からの引揚げを体験した手塚元彦さんが貴重な体験を語ります。

日時:3月17日(日)午後2時~(約60分) 会場:平和祈念展示資料館 ビデオシアター

詳しくはこちら

学芸員による作品紹介

学芸員が展示作品をはじめ、マンガ家たちの著書についても紹介します。

日時:3月20日(水・祝)、4月7日(日)午後2時~(約30分)

会場:平和祈念展示資料館 企画展示コーナー

アニメ上映会

日時: 3月23日(土)~4月5日(金)午前11時~(45分)/午後2時~(90分)

会場:平和祈念展示資料館 ビデオシアター

■■上映作品■■

午前11時~

「キクちゃんとオオカミ」

昭和20(1945)年の満州(現・中国東北部)からの引揚げ途中、病気のため置き去りにされた少女と、少女を救った一匹のオオカミの交流を描いた作品。

平成20(2008)年 テレビ朝日・シンエイ動画 制作



午後2時~

「満蒙開拓と少年たち 蒼い記憶」

長野県と満州 (現・中国東北部) を舞台に、満蒙開拓青少年義勇軍に志願した少年の目を通して、戦中から終戦までの満蒙開拓の実像を描いた作品。



※開催イベントの内容は変更になる場合もありますので予めご了承ください。



トークイベント 漫画評論家・石子順さんが語る「マンガ家たちの引揚げ体験」

本展示の作品解説を担当し、ちばてつやさん、森田拳次さんらとともに「中国引揚げ漫画家の会」を結成した石子さんが、マンガ家たちの引揚げ体験について語ります。

講演者:石子順氏(日本漫画家協会監事、漫画評論家)

日時:4月6日(土) 午後2時~(約60分) 会場:平和祈念展示資料館 ビデオシアター

※先着50名、予約不要

【石子順(いしこじゅん)さんプロフィール】

昭和10 (1935) 年京都生まれ。漫画評論家。5歳のとき、大連へ渡る。父親についてハルピン、奉天(現・瀋陽)などを転々としたのち、10歳のとき、新京(現・長春)で終戦を迎える。父親が日本語新聞制作で留用となり、昭和28 (1953) 年、舞鶴に引揚げ。平成7 (1995) 年、ちばてつや、森田拳次らとともに「中国引揚げ漫画家の会」を結成。